

“リビング・ウィル”を  
書くことから始めよう！

\*\*\*

一般的なリビング・  
ウィルの内容は、「終末期には①食事が摂れなくても点滴、鼻管、胃瘻をしない、②人工呼吸器をつけない、③一度使っても自発呼吸が戻らなければ人工呼吸器を外す、④意識が低下すれば昇圧薬、輸血、人工透析、血漿交換などはやめる、⑤苦しい時には緩和治療をする」などです。

サインするだけで完成できる例文がインターネットから入手できます。内容を吟味して自身自身の気持ちに合うように書き直し、さらに病状によって気持ちも変化するので、常に内容を見直しながら使用します。

# 健康♪外来ニュース

“人生会議” したことがありますか？

\*\*\*

“人生会議”とは、厚生労働省がつけたアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称です。もしもの時のために、人生の最終段階の医療・介護・ケアについて、家族らや専門家と繰り返し話し合って、共通認識を作り上げてゆく取り組みのことです。

「自分の終末期にはこうして欲しい」という希望をかなえるためには、正確な判断ができるうちにしっかりと自分の考えをまとめて意思表示の書類（**リビング・ウィル**）を作り、さらに思考能力が失われた状態になった時に判断を任せる代理人（**キーパーソン**）を決めておく必要があります。

脳卒中や心筋梗塞などが突然起きたら、考えている余裕がありません。老衰やがんでは時間がありそうですが、決断を先送りしていると時機を逸します。人生の最後の迎え方について、書籍や講演会などで学び、家族や親しい友人らと話し合い、医療や介護の専門家に相談してみることを勧められます。

誰にでも必ず訪れる“人生”最後の日々。「**終わりよければ全てよし**」と言えたなら幸せですね。そのためには前もって“人生”会議が必要だというわけです。

“もしバナ” ゲームしませんか？

\*\*\*

「意思表示したくても、考えたこともないのでわからない！」と言われる方は、アメリカ発の“もしバナ”（もしもの話）ゲームをしながら自分の気持ちを探ってみましょう。終末期に感じる思いが記された36枚のカードを使って、トランプ占いの様な方法でゲームします。一人でも数人でも行えます。興味のある方は、**健康♪外来**にお尋ねください。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康♪外来

水曜日 14:00~17:00(要予約)

担当：中嶋